

平成16年12月期 第3四半期業績の概況(連結)



会社名 **日本マクドナルドホールディングス株式会社**
(URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>)

平成16年11月5日
(コード番号：2702 登録銘柄)

代表者 役職名 代表取締役副会長兼社長 氏名 原田 永幸
問合せ責任者 役職名 財務・経理担当執行役員 氏名 石田 正 TEL：(03) 3345-8223

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容) 持分法 除外 1社(日本プレタ・マンジェ株式会社)
現在清算手続中であり、事業を行っていないため持分法の適用範囲より除外しております。

2. 平成16年12月期第3四半期業績の概況(平成16年1月1日～平成16年9月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年12月期第3四半期	229,891	(3.2)	4,382	(181.4)	4,190	(287.7)
15年12月期第3四半期	222,708	(-)	1,557	(-)	1,080	(-)
(参考) 15年12月期	299,823		2,842		1,896	

	四半期(当期) 純利益(損失)		1株当たり四半期(当期) 純利益(損失)		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益(損失)	
	百万円	%	円	銭	円	銭
16年12月期第3四半期	2,045	(204.0)	15	38	-	
15年12月期第3四半期	672	(-)	5	06	-	
(参考) 15年12月期	7,121		53	57	-	

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。なお、当社は平成14年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成15年12月期第3四半期の増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
16年12月期第3四半期	192,294	138,378	72.0	1,040	76
15年12月期第3四半期	197,410	148,568	75.3	1,117	39
(参考) 15年12月期	208,130	141,017	67.8	1,060	60

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年12月期第3四半期	4,999	3,207	1,292	8,876
15年12月期第3四半期	3,664	3,222	2,676	10,997
(参考) 15年12月期	11,567	3,577	5,432	15,789

3. 平成16年12月期の連結業績予想(平成16年1月1日～平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	305,261	7,903	3,836	28	85

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. 平成16年12月期第3四半期 経営成績及び財政状態の概況

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

既存店売上高前年比 1~9月 +4.5%、連結経常利益 前年比31億円増

当第3四半期の経済概況は、日銀短観によれば、昨年以來続いてきた景況感の改善は続いているものの、原油価格の高騰などにより伸びはやや鈍化してきている状況にあります。小売業全般においては、一部に猛暑効果がみられましたが、盛況を極めたオリンピックによる出足への影響や大型台風の相次ぐ上陸など、特に8月は全般に低調でした。

当社グループの基幹ビジネスである日本マクドナルド株式会社のハンバーガーレストラン事業は、昨年第4四半期から連続4四半期、既存店売上高^(注)が前年同期を上回るなど売上が回復しており、今年1~9月の既存店売上高は対前年同期比で4.5%の増加となりました。これらは、当期同社が集中的に取り組んでいる3つの戦略的課題「ブランドの再構築」「店舗体験の向上」「組織の統合・強化と能力開発」の成果に他なりません。

ブランドの再構築：レギュラーメニューの長期的な強化の一環として、当第3四半期には昨年の期間限定販売で実績のある「チキンフィレオ」を8月20日にレギュラーメニューに加え、お客様のメニューチョイスの幅を広げました。「チキンフィレオ」の再登場に際しては、強力な来店誘引である折り込みクーポンを計画的に活用し認知度を高め、順調にリピーターを増やしております。この他、期間限定商品として「月見バーガー」「チーズ月見バーガー」の販売を行いました。また、お客様がマクドナルド・ブランドに期待する「FUN-楽しさ」を提供するため、お客様に人気のハッピーセットに「とっとこハム太郎」「ハローキティ」「エンジェルブルー」を投入しました。さらに、マクドナルド日本1号店のオープン日を記念したハンバーガーの日（7月20日）に、「マック・ハンバーガーBirthday」キャンペーンを実施しました。お客様に手頃な価格で商品を提供するバリュー戦略としましては、100円で販売した期間限定「マックシェイクブルーベリー」が大好評でした。アテネ・オリンピックについては、オリンピックのグローバルスポンサーとしてスポーツの祭典をプロモートするとともに、オリンピック初出場の女子ホッケー日本代表のスポンサーになり全国13万人の従業員からエールを送ったことは大変な話題になりました。

店舗体験の向上：お客様にとって「お気に入りの食事の場とスタイル」となるために、マクドナルドの最大の強みであるクイックサービスレストランのスピーディーで正確、かつフレンドリーな心を込めたおもてなしに焦点をあてたサービスキャンペーンを繁忙期の7月及び8月に行い、店舗における最高の店舗体験の提供に対する意識を高めました。このため、人員配置や教育などに集中投資を行い、QSC（クオリティ、サービス、クレンリネス）の一層の向上に努めています。キャンペーン終了後もホスピタリティーあふれるサービスを続けてまいります。

組織の統合・強化と能力開発：5月に組織の改編を行い、6月より新組織体制のもと質の高い運営をスピーディーに進めています。当第3四半期からは、さらに、マクドナルドがグローバルに持つ知的資産・人的資源を活用し、グローバルな視点で経営に取り組む体制を整えています。既存店の活性化については、当第3四半期までにリモデル・リフレッシュを「メイドフォーユー」導入905店舗を含め1,235店舗に実施いたしました。その結果、「メイドフォーユー」導入店舗は当第3四半期末で3,089店舗になりました。

また、出店数はトラディショナル店舗（標準店舗）9店舗、サテライト店舗（メニュー限定小型店舗）16店舗の合計25店舗となりました。閉店数につきましてはトラディショナル店舗12店舗、サテライト店舗27店舗の合計39店舗となり、当第3四半期末の総店舗数は3,759店舗（前期末比純減14店舗）となっております。

以上のような活動の結果、システムワイドセールス（直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高）は2,963億04百万円（対前年同期比3.2%増）となり、連結売上高は2,298億91百万円（対前年同期比3.2%増）、連結経常利益は41億90百万円（対前年同期比287.7%増）となりました。

（注）既存店売上高は、当年度対象月と前年同月の営業日数の比が85%以上である店舗の売上高です。

前年同期比によって営業のトレンドを測ります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、88億76百万円（前連結会計年度比43.78%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は49億99百万円（前年同期は36億64百万円の収入）となりました。これは主に希望退職者特別退職金の支払35億51百万円、経営役務契約解約金の支払62億49百万円、マック・ビジョン事業撤退に伴う支払11億95百万円によるものです。これらの特殊要因を除いた場合の営業活動によるキャッシュ・フローは、59億96百万円の収入となります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は32億07百万円（前年同期比0.5%減）となりました。これは、主に店舗設備等の取得による支出が58億63百万円、情報システムの開発による支出が10億81百万円あった一方、敷金・保証金の回収による収入が35億74百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は12億92百万円（前年同期は26億76百万円の使用）となりました。これは、主に短期借入金による収入が90億円あった一方、長期借入金の返済による支出37億50百万円及び配当金の支払による支出39億57百万円があったためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期連結業績予測に変更はありません。

主力であるハンバーガーレストラン事業につきましては、最高の「Q S C + V（より高い品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境、付加価値）」の提供を目指した活動を継続してまいります。

< 添付資料 >

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成16年9月30日)		前第3四半期末 (平成15年9月30日)		前連結会計年度末 (平成15年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1. 現金及び預金	8,876		11,007		15,799	
2. 売掛金	6,295		5,905		7,796	
3. 有価証券	-		210		-	
4. たな卸資産	2,846		3,211		2,701	
5. 繰延税金資産	2,867		1,227		2,867	
6. その他	5,756		4,515		4,784	
貸倒引当金	106		117		105	
流動資産合計	26,534	13.8	25,960	13.2	33,843	16.3
固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	87,843		90,377		89,521	
減価償却累計額	49,576	38,266	49,665	40,711	49,392	40,129
(2) 機械装置及び運搬具	17,656		17,266		17,262	
減価償却累計額	8,537	9,119	7,840	9,426	7,957	9,305
(3) 工具器具及び備品	20,366		22,029		21,077	
減価償却累計額	14,653	5,713	14,854	7,174	14,539	6,538
(4) 土地	16,829		16,889		16,840	
(5) 建設仮勘定	4		51		25	
有形固定資産合計	69,933	36.4	74,253	37.6	72,838	35.0
2. 無形固定資産						
(1) 営業権	982		949		1,018	
(2) その他	4,239		4,607		4,519	
無形固定資産合計	5,222	2.7	5,557	2.8	5,537	2.6
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	7,636		8,389		8,808	
(2) 長期貸付金	87		1,335		94	
(3) 繰延税金資産	4,388		101		4,027	
(4) 再評価に係る繰延税金資産	1,923		1,918		1,926	
(5) 敷金・保証金	72,947		78,757		77,284	
(6) その他	5,474		3,072		5,695	
貸倒引当金	1,854		1,937		1,927	
投資その他の資産合計	90,603	47.1	91,638	46.4	95,910	46.1
固定資産合計	165,759	86.2	171,450	86.8	174,287	83.7
資産合計	192,294	100.0	197,410	100.0	208,130	100.0

区分	当第3四半期末 (平成16年9月30日)		前第3四半期末 (平成15年9月30日)		前連結会計年度末 (平成15年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	14,822		13,060		16,647	
2. 短期借入金	9,000		3,000		-	
3. 1年以内返済予定長期借入金	2,500		4,000		5,000	
4. 未払金	7,436		7,107		22,867	
5. 未払費用	6,718		5,828		6,532	
6. 賞与引当金	3,864		2,677		860	
7. 店舗閉鎖損失引当金	172		1,545		646	
8. 関係会社事業整理損失引当金	-		-		800	
9. その他	6,387		5,168		8,772	
流動負債合計	50,900	26.5	42,388	21.5	62,126	29.8
固定負債						
1. 長期借入金	500		2,500		1,750	
2. 繰延税金負債	-		814		-	
3. 退職給付引当金	789		887		1,001	
4. 役員退職慰労引当金	67		36		42	
5. その他	1,657		2,214		2,193	
固定負債合計	3,015	1.5	6,452	3.2	4,986	2.4
負債合計	53,915	28.0	48,841	24.7	67,113	32.2
(資本の部)						
資本金	24,113	12.5	24,113	12.2	24,113	11.6
資本剰余金	42,124	21.9	42,124	21.3	42,124	20.2
利益剰余金	71,122	37.0	80,866	41.0	73,070	35.1
土地再評価差額金	2,804	1.4	2,819	1.4	2,808	1.3
その他有価証券評価差額金	3,822	2.0	4,283	2.2	4,518	2.2
自己株式	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資本合計	138,378	72.0	148,568	75.3	141,017	67.8
負債及び資本合計	192,294	100.0	197,410	100.0	208,130	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第3四半期 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)		前第3四半期 (自平成15年1月1日 至平成15年9月30日)		前連結会計期間 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)	
	金額(百万円)	構比 (%)	金額(百万円)	構比 (%)	金額(百万円)	構比 (%)
売上高	229,891	100.0	222,708	100.0	299,823	100.0
売上原価	199,252	86.7	195,635	87.8	261,876	87.3
売上総利益	30,639	13.3	27,072	12.2	37,946	12.7
販売費及び一般管理費	26,256	11.4	25,514	11.5	35,104	11.8
営業利益	4,382	1.9	1,557	0.7	2,842	0.9
営業外収益	1,056	0.4	1,177	0.5	1,479	0.5
営業外費用	1,248	0.5	1,654	0.7	2,424	0.8
経常利益	4,190	1.8	1,080	0.5	1,896	0.6
特別利益	419	0.2	648	0.3	1,465	0.5
特別損失	943	0.4	383	0.2	15,408	5.1
税金等調整前四半期(当期) 純利益(損失)	3,666	1.6	1,346	0.6	12,046	4.0
法人税等	1,621	0.7	673	0.3	4,924	1.6
四半期(当期)純利益 (損失)	2,045	0.9	672	0.3	7,121	2.4

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期 (自 平成16年1月1日 至 平成16年9月30日)	前第3四半期 (自 平成15年1月1日 至 平成15年9月30日)	前連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年12月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 (損失:)	3,666	1,346	12,046
減価償却費	6,831	6,459	8,679
引当金の増減額(減少:)	2,873	202	1,912
店舗閉鎖損失引当金の増減額(減少:)	126	1,094	1,855
未回収商品券収入	128	105	141
受取利息及び配当金	183	176	206
支払利息	40	99	110
持分法による投資損益	39	489	593
関係会社事業整理損失	-	-	2,461
固定資産除却損	627	720	1,974
売掛金の増減額(増加:)	1,470	3,181	1,290
たな卸資産の増減額(増加:)	145	355	154
フランチャイズ店舗の買取に係る営業権 の増減額(増加:)	39	239	324
その他の資産の増減額(増加:)	102	508	2,218
買掛金の増減額(減少:)	270	2,113	631
支払手形の増減額(減少:)	1,554	853	1,251
未払費用の増減額(減少:)	182	942	247
その他の負債の増減額(減少:)	7,132	6,065	12,683
その他	59	26	327
小計	6,233	678	9,940
利息及び配当金の受取額	160	110	139
利息の支払額	36	240	242
希望退職者特別退職金の支払額	3,551	-	-
経営役員契約解約金の支払額	6,249	-	-
マック・ビジョン事業撤退に伴う支払額	1,195	-	-
法人税等還付金の受取額	-	3,549	3,541
法人税等の支払額	360	434	1,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,999	3,664	11,567
投資活動によるキャッシュ・フロー			
店舗設備等の取得による支出	5,863	6,497	7,809
店舗設備等の売却による収入	1,251	766	1,296
投資有価証券の満期償還による収入	-	250	460
関係会社株式・出資金の取得による支出	-	92	105
敷金・保証金の差入れによる支出	405	530	745
敷金・保証金の回収による収入	3,574	4,581	6,217
関係会社への貸付による支出	650	1,200	1,700
情報システムの開発による支出	1,081	892	1,371
その他	33	392	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,207	3,222	3,577

	当第3四半期 (自 平成16年1月1日 至 平成16年9月30日)	前第3四半期 (自 平成15年1月1日 至 平成15年9月30日)	前連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年12月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	9,000	3,000	-
長期借入れによる収入	-	6,000	6,000
長期借入金の返済による支出	3,750	7,750	8,000
関係会社からの長期借入れによる収入	-	-	500
配当金の支払による支出	3,957	3,926	3,932
自己株式の取得による支出	0	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,292	2,676	5,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	0
現金及び現金同等物の増加額 (減少額:)	6,913	2,234	2,557
現金及び現金同等物の期首残高	15,789	13,231	13,231
現金及び現金同等物の期末残高	8,876	10,997	15,789